

平成 27 年度 遺伝子組換え農作物の栽培に係る栽培実験計画書補足説明資料

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所における遺伝子組換え農作物の栽培について、つくば市「遺伝子組換え作物の栽培に係る対応方針」（以下「対応方針」という。）の 5 に基づき、栽培実験計画書に記載する事項として以下の点を補足します。

【栽培実験名】 カルビンサイクル強化イネ（FBP/SBPase発現イネ）（*Oryza sativa* L.）の栽培

【補足事項】

○対応方針の 5（栽培計画書に記載する事項）

①栽培者並びにその代表者及び責任者の氏名及び住所等

- ・ 栽培者 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構作物研究所
- ・ 代表者 所長 矢野 昌裕
- ・ 責任者 企画管理室長 浦尾 剛
- ・ 住 所 茨城県つくば市観音台2-1-18

⑩交雑及び混入等による不測の事態発生時の対処方法

- ・ 交雑及び混入等による不測の事態発生時は、状況把握と原因究明により更なる交雑及び混入の防止措置を徹底します。
- ・ 不測の事態発生に関する原因、状況及び対策等を電話、電子メール、または文書により関係機関等へ連絡します。また、本件を周知するため、作物研究所のホームページのお知らせを掲載します。

⑪防犯措置

- ・ 隔離ほ場周りのフェンスに破損等が無い点検するとともに、出入り口は施錠します。
- ・ 隔離ほ場の見回りによる監視を行ないます。
- ・ 隔離ほ場において異常があった場合は、担当職員が直ちに現地に出向き状況を確認するとともに、関係者へ連絡し応急処置等必要な措置を講じます。
- ・ 関係機関等への連絡は、必要に応じて前項に準じて行ないます。